



平成 22 年 6 月 8 日

各位

株式会社 ストリーム
代表取締役社長 劉 海濤
(コード番号：3071 東証マザーズ)
問合せ先 取締役副社長 竹下謙治
(TEL03-5256-7684)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 22 年 3 月 12 日に公表した平成 23 年 1 月期の第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成 23 年 1 月期 第 2 四半期累計期間連結業績予想の修正(平成 22 年 2 月 1 日～平成 22 年 7 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	18,550	34	29	17	427.09
今回修正予想(B)	18,832	118	122	82	2,060.46
増減額(B - A)	282	84	93	65	1,633.37
増減率(%)	1.5%	247.1%	320.7%	382.4%	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	14,418	41	32	24	625.78

単位 :百万円、円

2. 平成 23 年 1 月期 通期連結業績予想の修正(平成 22 年 2 月 1 日～平成 23 年 1 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	38,890	165	156	88	2,210.83
今回修正予想(B)	39,418	238	232	151	3,794.26
増減額(B - A)	528	73	76	63	1,583.43
増減率(%)	1.4%	44.2%	48.7%	71.6%	
ご参考： 前期実績	33,655	109	122	76	1,920.91

単位 :百万円、円

3. 平成 23 年 1 月期 第 2 四半期累計期間個別業績予想の修正(平成 21 年 2 月 1 日～平成 21 年 7 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	13,221	26	21	13	326.60
今回修正予想(B)	13,221	61	70	40	1,005.10
増減額(B - A)	0	35	49	27	678.50
増減率(%)		134.6%	233.3%	207.7%	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	14,418	41	32	24	602.84

単位 :百万円、円¥

4. 平成 23 年 1 月期 通期個別業績予想の修正(平成 21 年 2 月 1 日～平成 22 年 1 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	27,416	112	103	62	1,557.63
今回修正予想(B)	27,416	136	140	81	2,035.33
増減額(B - A)	0	24	37	19	477.70
増減率(%)		21.4%	35.9%	30.6%	
ご参考： 前期実績	25,207	108	111	74	1,862.58

単位 :百万円、円

2. 修正の理由

(連結業績予想)

当第 1 四半期は当グループのネット通販事業におきまして、家電エコポイント制度における薄型テレビの対象機種が 4 月から変更されたことに伴う駆け込み需要が発生し薄型テレビの販売が大幅に伸長し収益を押し上げました。又、比較的利益率の高い洗濯機・冷蔵庫等の白物家電の販売単価がアップし増収増益に寄与しました。

同セグメントに属する各社別では、(株)ストリームは主力販売商品の一部が伸び悩んだものの、前期に子会社化した(株)イーベスト、(株)特価 COM につきましては、販売サイトとして取扱商品が拡充しその認知度が浸透したこと、又、カスタマーサービスの水準を向上させたことなどにより大幅な増収となりました。

その他事業におきましても、太陽光関連の商材であるバックシートの販売が本格化し大幅な増収となりました。

一方、第 2 四半期以降当社グループを取り巻く環境は、欧州で発生した金融危機が再び世界経済を不振に陥らせるとの観測や家電販売の競争激化などから楽観視できるものではないと考えております。

当社グループにおきましては、中国におけるその他事業は引き続き堅調ではありますが、ネット通販事業においては 4 月中旬以降前述の薄型テレビの需要も一段落し、好調な販売が収束しつつあります。なお、新年度に入り業務拡充を意図として非正規雇用者の正社員化や人材採用を積極化しておりますが、今後は増員したマンパワーを活用し現在 16 ある販売サイトのスケールアップを図ると同時に 5 月に移転した物流拠点を中心に物流コストの削減を行うなど前期比増収増益基調を維持したいと考えております。

以上の状況を踏まえ、第 1 四半期の堅調な業績、又、第 2 四半期以降の収益環境を勘案し、第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想を修正致します。

(個別業績予想)

個別業績予想の修正理由は連結業績予想に記載のネット通販事業の内容と同様であります。

以上